

「投資信託及び投資法人に関する法律」が一部改正され、2014年12月1日以降に計算期間(または作成対象期間)の末日を迎えるファンドより運用報告書が「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に二段階化されることとなりました。「運用報告書(全体版)」の入手方法につきましては、本表紙の<閲覧方法>をご覧ください。

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

第11期(決算日:2015年5月12日)

作成対象期間(2014年11月13日～2015年5月12日)

第11期末(2015年5月12日)	
基準価額	10,088円
純資産総額	25,610百万円
(2014年11月13日～2015年5月12日)	
騰落率	△0.8%
分配金合計	100円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、2015年5月12日に第11期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

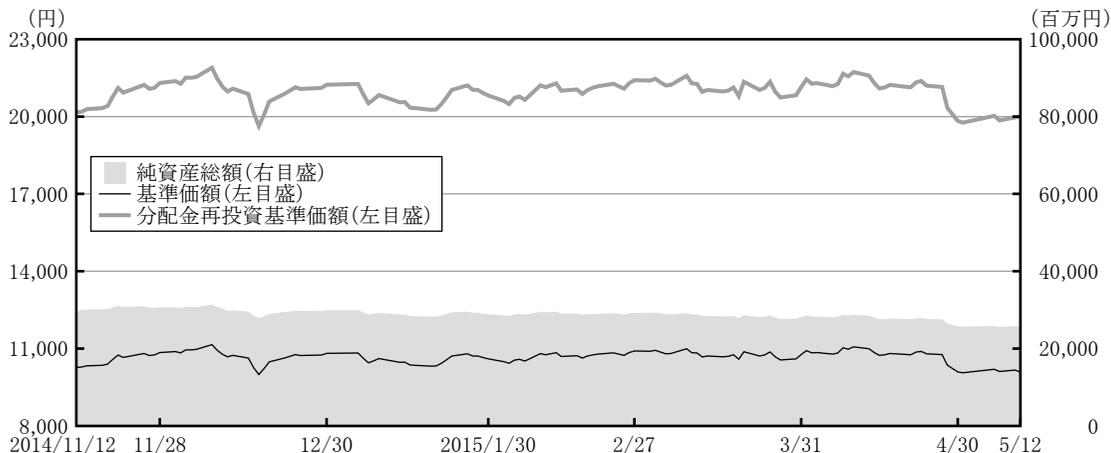
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当期中の基準価額等の推移について(第11期:2014年11月13日から2015年5月12日まで)



第11期首	10,271円
第11期末	10,088円(既払分配金100円)
騰落率	△0.8%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

インドネシア株式市場は、2014年12月中旬に原油価格の急落を背景にリスク回避姿勢が強まり、一時急落しましたが、2015年1月から3月上旬にかけては燃料補助金の撤廃など、新政権による改革に進展が見られたことから、海外投資家による旺盛な資金流入が見られ上昇しました。

その後、株価は高値圏でもみ合いとなりましたが、2015年1-3月期の予想を下回る企業の決算発表を受けて4月下旬に大幅下落となりました。為替市場でもルピア安円高となったため基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/11/13 ～2015/5/12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	76円	0.712%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,674円です。
(投信会社)	(31)	(0.296)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(43)	(0.400)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.004)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	77	0.720	

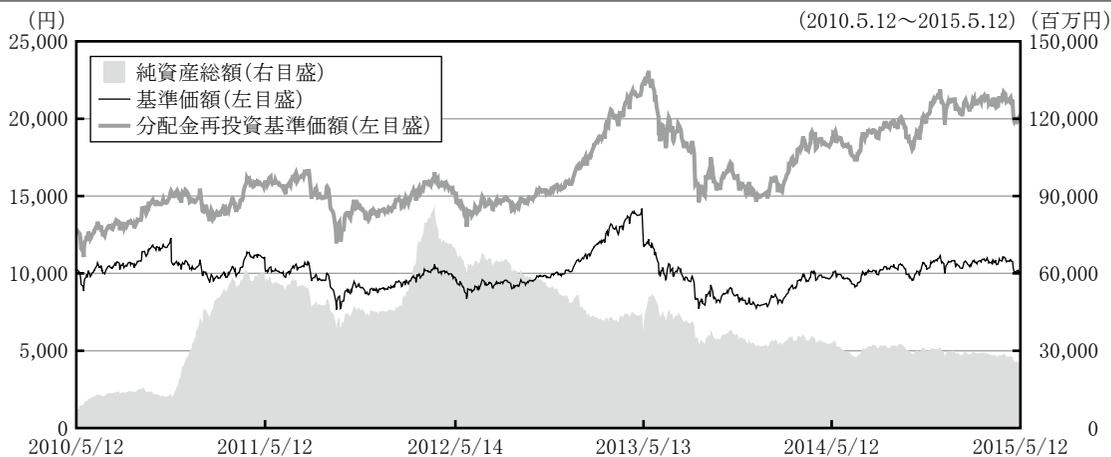
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2010/5/12 期首	2011/5/12 決算日	2012/5/14 決算日	2013/5/13 決算日	2014/5/12 決算日	2015/5/12 決算日
基準価額 (円)	10,095	10,254	9,733	11,837	9,807	10,088
期間分配金合計(税込み) (円)	—	2,500	0	2,500	0	500
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	27.0	△5.1	47.3	△17.1	7.9
純資産総額 (百万円)	7,022	55,679	69,929	37,484	33,049	25,610

投資環境について

○海外株式市況

2014年10月にジョコ大統領が就任し、11月には燃料補助金の削減を決定するなど、新政権による経済改革が本格始動したことを好感し、株式市場は期初から上昇基調となりました。12月中旬に原油価格の急落を背景にリスク回避姿勢が高まり、一時的に株価が急落する局面が見られましたが、2015年4月上旬にかけて燃料補助金の撤廃など財政改革に進展が見られたことやインフラ開発に積極的な予算が組まれたことを好感し、海外投資家による旺盛な資金流入を背景に株式市場は上昇しました。しかし、4月下旬には2015年1－3月期の予想を下回る企業の決算発表を嫌気し、大幅下落となりました。

○為替市況

インドネシアルピアは、米国の金融引き締め観測を背景としたドル高傾向から期を通じて軟調に推移し、特に2015年3月以降は海外投資家による債券市場からの資金流出なども見られ、対円対ドルともに上値の重い展開となりました。

○国内債券市況

10年国債利回りは期初から2015年1月中旬にかけて、日銀による国債購入策の強化を背景に低下傾向（価格は上昇）となりました。しかし、1月中旬の国債入札が不調だったことをきっかけに市場の流動性に対する警戒が高まり、3月中旬にかけて利回りは上昇（価格は下落）しました。4月に入り需給環境の好転から利回りは穏やかに低下（価格は上昇）しましたが、同月下旬以降、欧米各国における金利の急上昇を受けて再び上昇（価格は下落）に転じました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入れ比率を高位に保つよう運用しました。

○インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。当期は大手一般消費財株、大手銀行株の保有などがプラスに寄与した一方で、公益事業株、タバコ株、石炭株の保有などがマイナスに作用しました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1－10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持し、長期の債券の金利低下が大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、経費控除後の配当等収益・基準価額水準等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第11期	
	2014年11月13日 ～2015年5月12日	
当期分配金 (円)		100
(対基準価額比率) (%)		0.982
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		100
翌期繰越分配対象額 (円)		633

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・エクイティの組入れ比率を高位に保つことを基本とします。

○インドネシア・エクイティ

昨年までの引締めの金融政策や足元の通貨安に起因する民間消費の減速、予算執行の遅れによる政府支出の鈍化により、インドネシアの2015年1-3月期の国内総生産(GDP)成長率は前年同期比+4.7%と前期(同+5.0%)から減速しました。しかし、燃料補助金制度の改革等によるインフラ事業投資の拡大により、今後も中長期的な成長が期待されています。一方で、インドネシアルピアは米国の利上げ観測の高まりから弱含みとなっており、市場を取り巻くリスクについては引き続き注意が必要です。運用担当者は、市場の調整局面ではファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組入れる好機と考えています。セクター別では、今後も高い成長性を期待して銀行や不動産の組入れ比率を高め維持する方針です。生活必需品について現状は割高との見方を継続しています。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofA Merrill Lynch 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。日銀による国債の大量購入政策やインフレ率の低迷から、国債利回りは低位で安定的に推移するものと思われれますが、バリュエーション面で割高となっていることや米国の金融引締め政策などのリスク要因を鑑み、デュレーションの短期化を図る方針です。

お知らせ

○重大な約款変更や信託契約の解約等において行われる書面決議に伴う手続き(決議要件の緩和、反対者の買取請求の不適用等)について、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

○運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

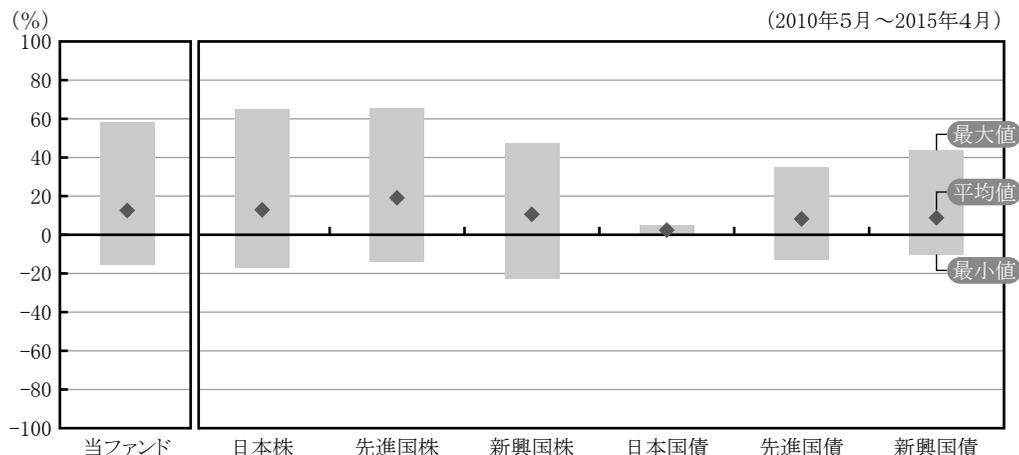
(変更日:2014年12月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2009年11月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド」のクラスJ投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.6	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8
最大値	58.4	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-15.4	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年5月から2015年4月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2009年11月30日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2010年11月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

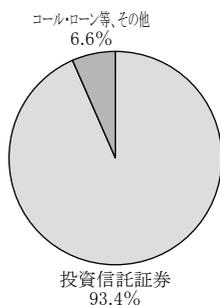
○組入ファンド等

(組入銘柄数:2銘柄)

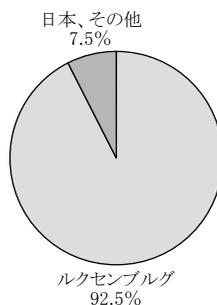
ファンド名	第11期末 2015年5月12日
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド	92.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.9%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

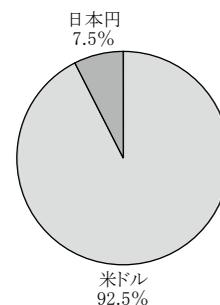
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第11期末 2015年5月12日
純資産総額	25,610,125,497円
受益権総口数	25,386,034,740口
1万口当たり基準価額	10,088円

* 当期中において追加設定元本額は5,487,831,336円、一部解約元本額は8,799,248,793円です。

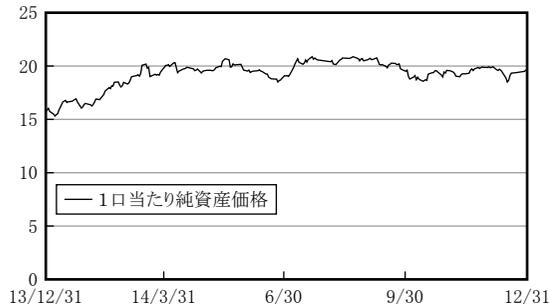
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○組入上位10銘柄

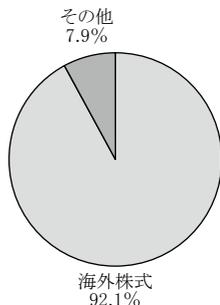
(組入銘柄数:62銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	7.7%
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT	銀行	インドネシア	6.6%
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.5%
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	電気通信サービス	インドネシア	6.5%
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	銀行	インドネシア	6.0%
BANK NEGARA INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	4.1%
UNILEVER INDONESIA TBK PT	家庭用品・パーソナル用品	インドネシア	4.0%
PERUSAHAAN GAS NEGARA PERSER	公益事業	インドネシア	3.6%
GUDANG GARAM TBK PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	2.7%
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	素材	インドネシア	2.2%

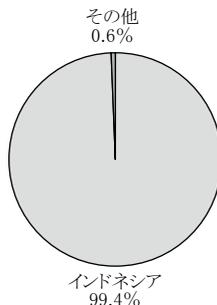
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示がされていないため、記載できません。

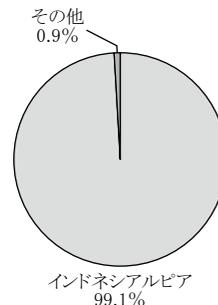
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

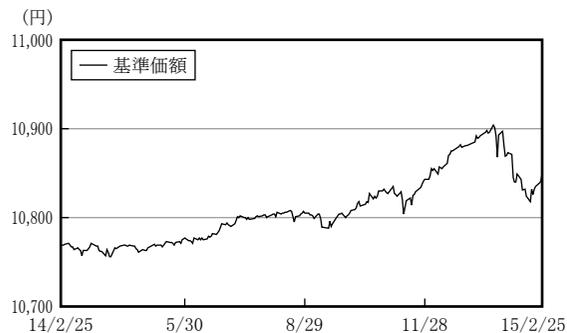
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2014年2月26日～2015年2月25日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

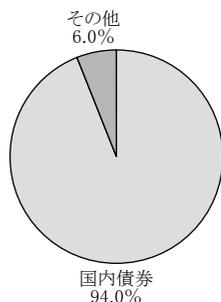
(組入銘柄数:27銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.6%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.3%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.1%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.7%
第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.7%
第69回利付国債(20年)	国債	日本	4.3%
第280回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%

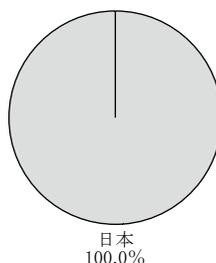
○1万円当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社)	23円 (15)
(a) 信託報酬 (販売会社)	(2)
(a) 信託報酬 (受託会社)	(6)
(b) その他費用 (監査費用)	3 (3)
合計	26

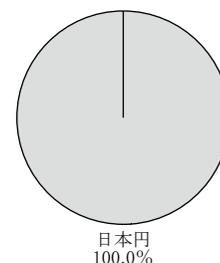
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要および注記については、2ページの「1万円当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。